

研究課題

ニューカレドニア・カナクの現代舞踊における

「芸術」の意義

- Wetr Kréation の考察を通して -

追手門学院大学
社会学部 社会学科

富田 大介

研究要旨

フランスの海外邦ニューカレドニアには、カナク文化を再生することに貢献した幾つかのダンスグループがある。なかでも、一九九二年にロイヤルティ諸島のリフ島で発足したグループ Wetr には、現在、若手主体の創作チーム Wetr Kréation が存在する。本研究は、このチームとそのメンバーの諸活動を辿りながら、カナクの現代舞踊における「芸術」の意義を検討する。具体的には、2014 年初頭からそのチームの中心メンバーが、フランス本国の舞踊センターでダンスの国家資格取得を目指す件に注目し、その芸術的舞踊のディシプリンによって、彼らの運動性はどのように変化し、またその帰国後には地元でどのように創作や教授を為すのかを調査しながら、彼らのダンス活動における芸術の意味を考える。